

火と水と石と

9・30 日大法・経算還闘争

殴る、倒す、蹴る

ルポ

百人

の学

館中

底か

ら數

生が山の上ホテルの方々が

駆けだした。

「逮捕だ!」

機動隊の指揮者が叫ぶ。その

時、薄暗い本館周間に

火の手が上がった。「火烈火烈

! 放火車!」

不思議にあた

りを飛んで出でて、炎がたち

まち激しい放火の前にかき消さ

れた。「突入。本館に入りして

金貯金庫へ!」捕撃車のマ

イクが大声を上げた。ガス弾の

連射の後、「一!」と放火車を上

げて機動隊員が突っ込む。逃げ

る学生が引かれて足をとられ

て摔倒し倒れた。一連の

追撃。捕る。殴る。倒れ

る。踏み絞る。蹴る! 激

しい暴行が学生に加えられた。

鼻血を出した隣に寝ねなく暴撃

であった。やがて、それがシ

ュラルミンの盾の隙

建物のう

しきな裏襲撃の目のとがな

いといつて公然と行なわれたの

であった。機動隊員が倒れた学

生の横目をつかんでやり立

たせると、すかさず手に石を持

た。そこを「報道」のヘル

メットをかぶった公安のカメラ

マンが写真にとった。女子学生

の顔面も彼らの前でみるみる

に染った。一頭に手をのせら

れて自殺人が本館前から逃

れ車に運行された。五時十五

分から五時までの間のできい

どである。今回の闘争中で一番

長い、一番重苦しい時間であ

た。

学館に機動隊捜査

午前六時、この日の会場は予

定されていた本館駅台木校舎

記念館での集会を終えた中大

講師の機動隊約二十五〇〇人をも

含めて本館の周辺は騒然たる雰

囲気に支配されていた。

名が校内を見まわり、監視の目

き搜査を受けた。約八〇〇人の

機動隊が各校舎を厳重に取り

囲む中で搜査は行なわれ、約一

〇〇〇点の凶器が押収され

た。この中には野球のバットや

タケカツなどの首をかじけたくな

ぬものも多数含まれてい

た。また、機動隊による各部屋

の破壊が行なわれたのである。

一方、この中には野球のバットや

タケカツなどの首をかじけたくな

ぬものも多数含まれてい

た。また、機動隊による各部屋

の破